

学校林の活用に関するアンケート調査の結果について

【調査目的】

各学校の学校林の活用状況や、今後の活用の方針等について把握し、学校林を活用した森林環境学習の支援の方向性を検討

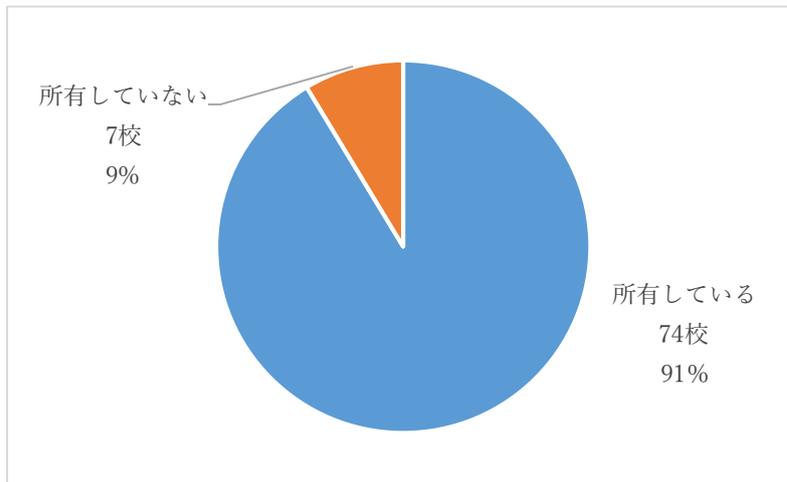
【対象施設】

国土緑化推進機構が令和3年度に実施した「学校林現況調査」において、学校林を保有していることが確認できた県内小・中・高等学校（112校）

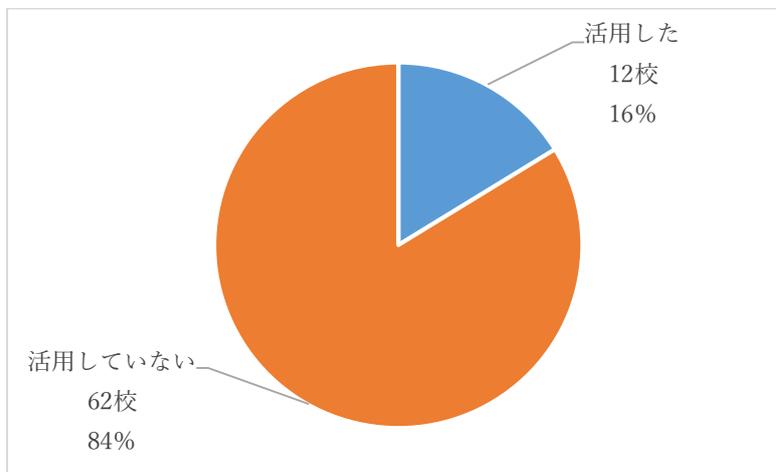
【回答数】

81校（回答率：72%）

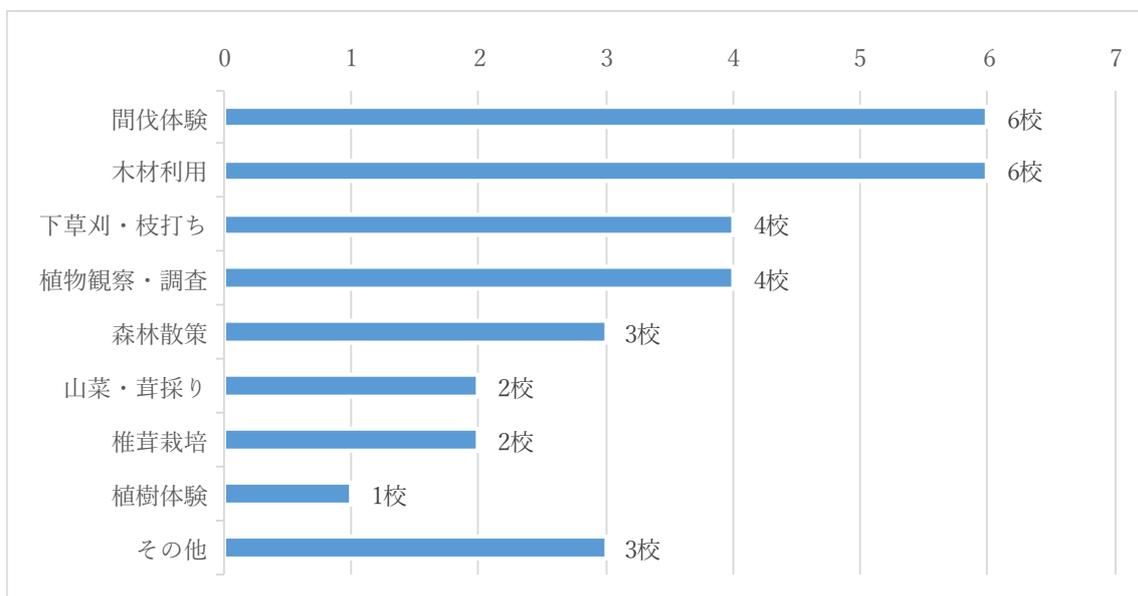
問1. 貴校は学校林を所有していますか。（回答数=81校）



問2. 【問1で「所有している」と回答した場合】令和4～6年度において、学校林を森林環境学習に活用しましたか。（回答数=74校）



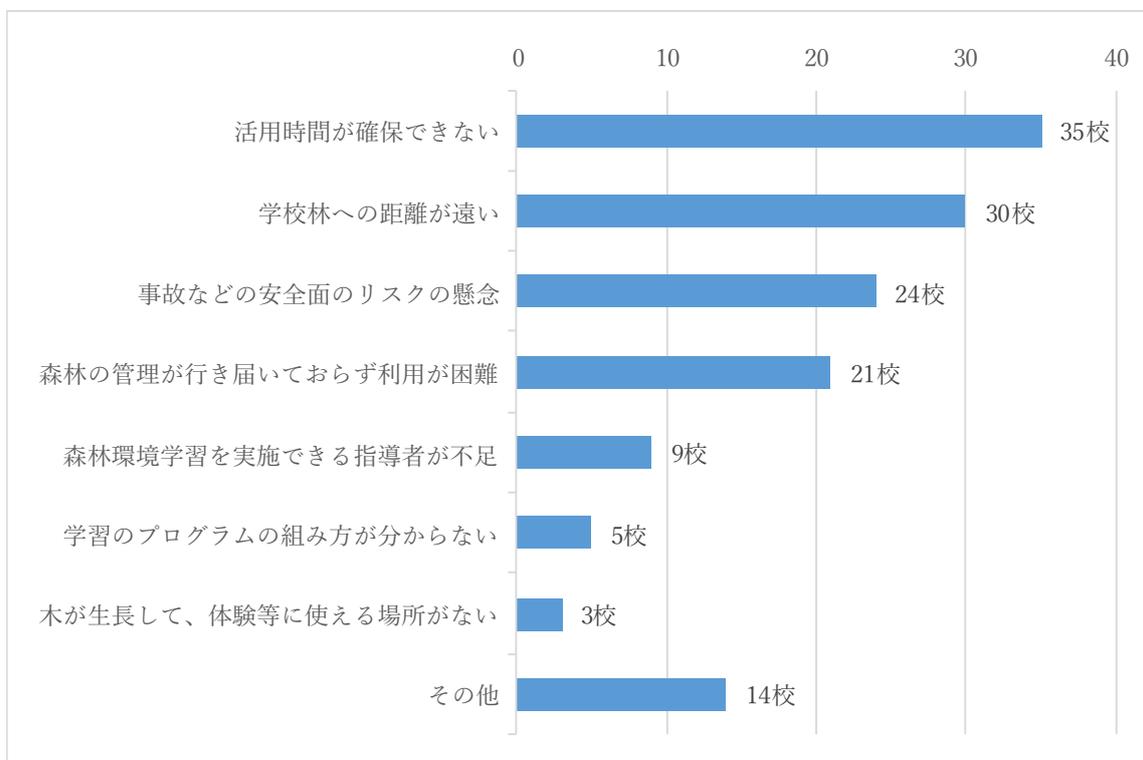
問3.【問2で「活用した」と回答した場合】具体的にどのような活用をしていますか。(複数回答可) (回答数=12校)



【その他】

- ・避難訓練
- ・梅の収穫や栗拾い
- ・児童が巣箱を作り、保護者といっしょに設置
- ・0～15年前に植樹した木の整備（鹿よけネットの撤去、針葉樹の伐採）を児童と保護者で実施。伐採した木は地元の夏祭りのたいまつとして活用

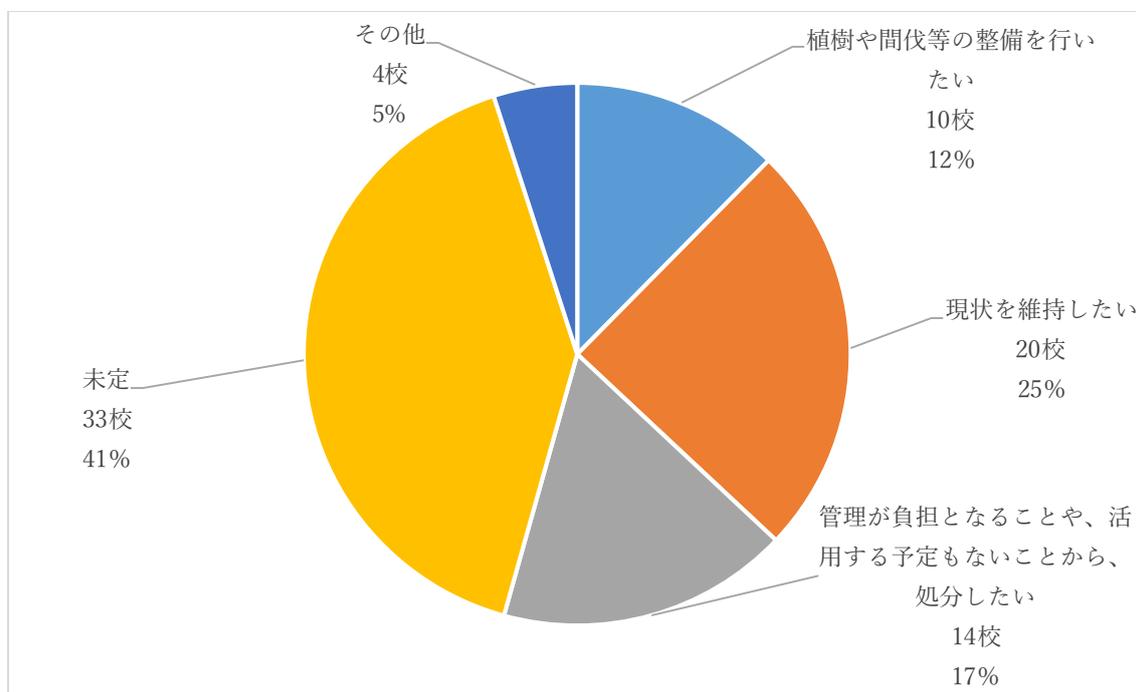
問4.【問2で「活用していない」と回答した場合】 学校林を活用していない理由は何ですか。(複数回答可) (回答数=62校)



【その他】

- ・他のフィールドを活用している
- ・町有林を活用して学習を行っている
- ・教育課程に学校林を活用できる内容がなくなったため活用できていない
- ・女子生徒のトイレ対応が課題
- ・以前から学校林を活用していない
- ・学校行事として行っていない
- ・授業や実習での活用は行っているが、森林環境学習に特化した取組は行っていない
- ・本校の教育目標と異なっているため、学校林の活用は考えていない
- ・学校林を所有していることを初めて知った
- ・学校の統合により所有している学校林の場所が遠くなった
- ・学校林の場所が把握できない
- ・教育委員会で事業化されていない
- ・事業が終了している

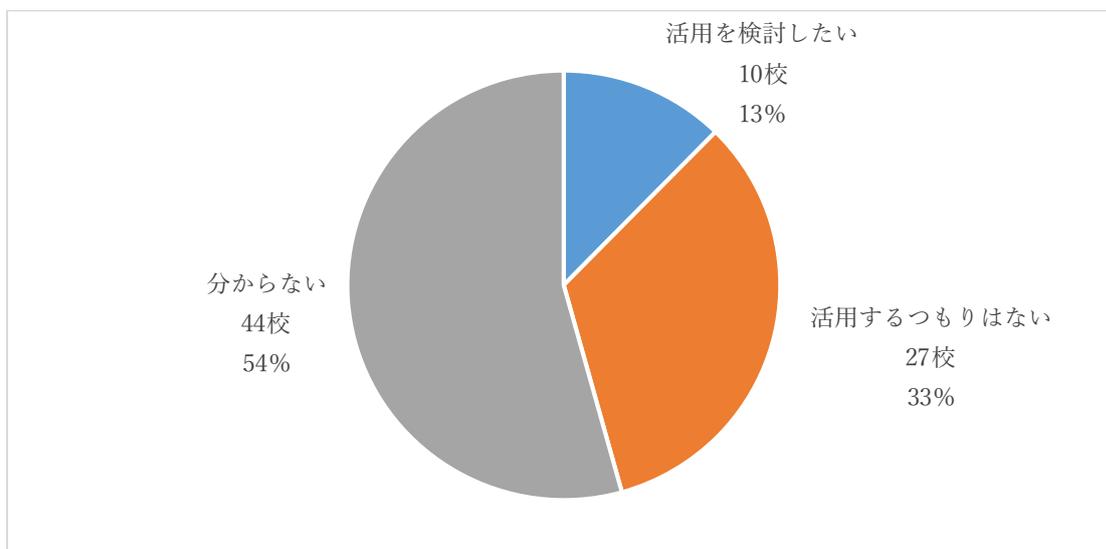
問5. 【問1で「所有している」と回答した場合】学校林の管理に関して、今後の方針をどのようにお考えですか。(回答数=74校)



【その他】

- ・学校林を活用した林業や環境学習は、林業関連の学科を持つ学校でしか実施が難しい状況。その理由として、専門教員や施設設備の不足が挙げられる。そこで、林業大学のサテライト実習地として学校林を整備・管理することを提案する。これにより、高校生が現場見学を通じて林業の関心を高める機会を提供できる。
- ・学校で管理することは難しいので、自治体にお返ししたい。
- ・令和7年度末で閉校のため、契約を解除する予定。
- ・本校には、複数の学校林があり、活用できているのは3か所である。児童数や協力者の人数を考えたとき、今かかえている学校林すべてを管理することは厳しい。今後、教育委員会と相談しながら、学校林の数を少なくしていきたいと考えている。

問6. 学校林を協働の森づくり事業のフィールドとして活用することについて、どのようにお考えですか。(回答数=81校)

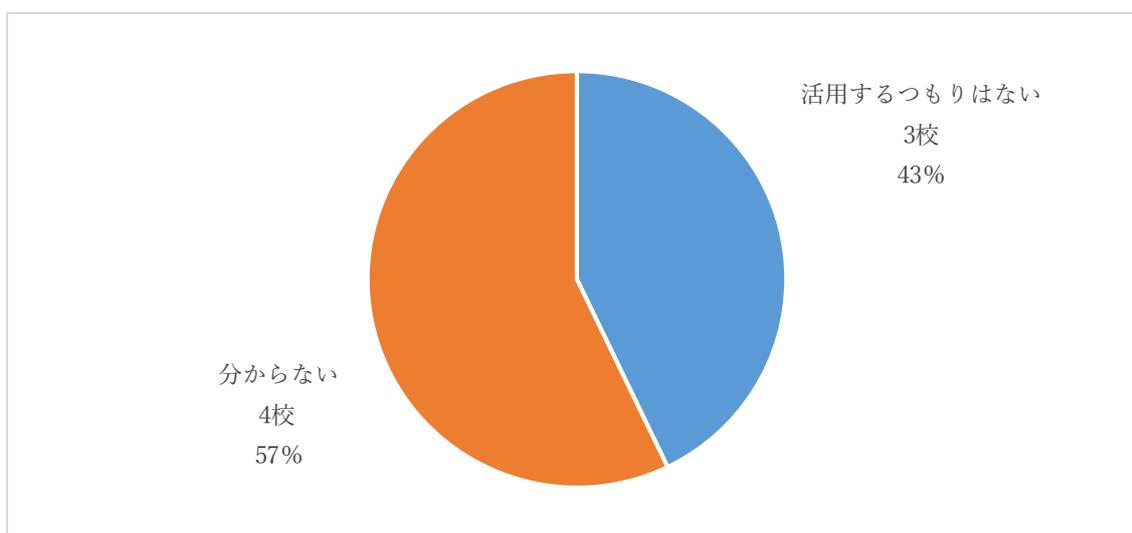


協働の森づくり事業

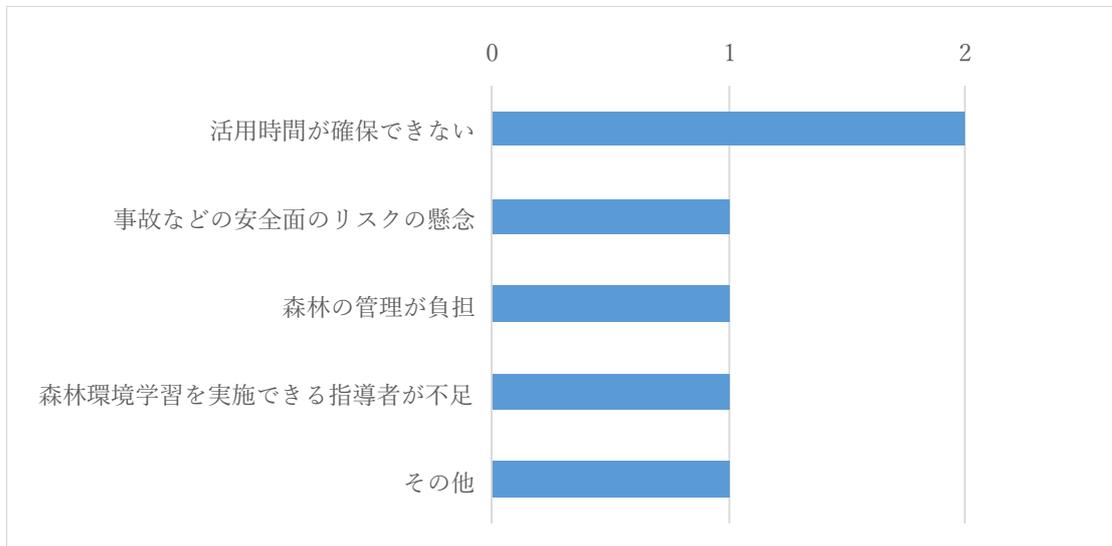
環境問題に積極的に取り組んでいる企業や団体と、市町村・県などが「協働の森パートナーズ協定」を締結し、企業からの協賛金をもとに、森林の整備や、企業と地域との交流活動（間伐体験など）を実施。

近年、この協働の森づくり事業における森林整備や交流活動のフィールドが不足しており、学校林の活用を検討中。

問7. 【問1で「所有していない」と回答した場合】学校の近隣に学校林や、市町村有林、地域住民で管理している里山など、森林環境学習に活用できるフィールドがあれば、環境学習の授業などで活用したいと考えますか。(回答数=7校)



問8. 【問7で「活用するつもりはない」と回答した場合】 その理由を記載してください。
 (複数回答可) (回答数=4校)



【アンケート結果を受けた今後の対応方針】

- ・問4 (学校林を活用していない理由) において「学校林への距離が遠い」を挙げている学校が多数
 ⇒「山の学習支援事業」でバスの借り上げ費用が補助できることを紹介
- ・問4 において「指導者が不足」を挙げている学校が9校
 ⇒「山の学習支援事業」で講師の派遣ができることを紹介
- ・問4 において「学習プログラムの組み方が分からない」を挙げている学校が5校
 ⇒「山の学習支援事業」で学習プログラムの作成を支援
- ・問5 (学校林の管理に関する今後の方針) において、「植樹や間伐等の整備をしたい」と回答し、かつ、問6 (学校林を協働の森づくり事業のフィールドとして活用) において、「活用を検討したい」と回答した学校が4校
 ⇒対象市町村と協議したうえで、今後新たに協定を締結する際や、協定を更新する際の協定森林の候補とすることを検討
- ・問5 において「植樹や間伐等の整備をしたい」と回答した学校が10校
 ⇒林業大学校に対し、研修フィールドとしての活用を念頭に情報を提供